



京都大学

日頃、京都大学ウクライナ危機支援基金にご支援いただいている皆様へ

いつも京都大学ウクライナ危機支援基金に多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。

京都大学では、本学の学術交流協定校を中心に、昨年よりウクライナからの学生受入れを行っており、10月より新たに5名の学生を迎え入れました。また、先月、すでに京都で生活を開始している12名の先輩学生を交え、5名の学生の歓迎会を開催いたしました。勉学だけでなく、普段の生活やクラブ活動の話も交わされ、学生たちが日本での生活を充実させている様子が伺えて、本学での学びを志す学生たちが増え、受入体制が整いつつあることをあらためて実感いたしました。今後も学生たちの輪が益々広がり、彼らが充実した学生生活を送ることを心から祈念いたします。

ロシアによるウクライナ侵攻から1年半以上経過しましたが、今なお犠牲者は増え続けており、出口の見えないまま戦況は長期化しています。未だウクライナ国内に留まっている学生たちの多くは、落ち着いて大学で学べる環境にありません。

本学は引き続きそのような学生たちを一人でも多く受け入れ、その学びと研究を継続できるよう、できる限りのサポートを実施してまいります。

引き続き、皆様の温かいご支援・ご協力をお願い申し上げます。

令和5年12月吉日
京都大学総長 湊 長博



11月8日に開催した新ウクライナ学生歓迎会での集合写真



京都大学

10月より新たに5名のウクライナ学生を受け入れ、現在17名の学生が本学で修学しています。お互いに交流を深めながら、日々、研究や勉学に励んでいます。また、課外活動に勤しんだり、日本文化を体験したりと日本での学生生活を充実させている様子が伺えます。



ウクライナ危機支援基金につきまして

2022年4月に設置した「ウクライナ危機支援基金」は、2023年10月時点で延べ2,300件、総額1億2,800万円を超えるご寄付をいただいています。

学生たちの受け入れを継続していくために、本基金の寄付募集も引き続き行ってまいります。皆様からの更なるご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

ご支援金の使用実績(2023年9月末まで)		2,296万円
(内訳)	日本への渡航旅費(帰国旅費含む。延べ20名分)	528万円
	奨学金(2022年10月より受け入れた15名に対して支給)	1,446万円
	家賃(※家主との契約で入居から1年間は、無償。今後の入居については有料となるため、ご支援金より家賃を支出する予定)	24万円
	カウンセラー(メンターなど)雇用費	277万円
	郵便・雑費等	21万円
今後1年間(2023年10月から2024年9月まで)に必要な見込み額(学生17名分)		3,200万円

ウクライナ危機支援基金 詳細

<https://www.kikin.kyoto-u.ac.jp/contribution/ukraine/>